

# 曲中新時代！

校長発信 2023. 8. 21 NO. 1 2

8月21日(月)から、2学期がスタートしました。登校の際に、笑顔で、会釈しながら、元気よく挨拶してくれる生徒の姿をうれしく思います。

この夏休み期間、生徒の皆さんはしっかりと過ごしてくれたようで、これもうれしいことです。また、各種大会等で曲中生が活躍したという話もたくさん届き、またうれしく思いました。

長い2学期が充実したものになるよう願いを込め、始業式では以下のような話をしました。

2学期のスタートに当たって、ここにいる皆さんが、無事に元気で始業式が行えることをうれしく思います。

ロシアとウクライナの戦闘は、終息する気配がなく、また若者の犠牲者が発生しました。自然災害によって、多くの貴重な命が失われました。事件事故で命を落としてしまった人も多数います。

そういった中で、今日ここに、無事に元気に皆さんが集まったことを喜びたいと思います。きっと、生徒の皆さんは、誇りある生活・張りのある生活を意識してくれたのでしょう。

この夏休み、曲中生のたくさんの頑張り・活躍があったことを聞き、さらにうれしくなりましたが、その中からいくつか、猛暑の中激闘に挑んだテニス部、その中で全国出場を果たして今愛媛県に参戦中のIさん・Kさん。日頃の努力を積み重ね、すばらしいハーモニーを響かせ、全道大会にコマを進めた吹奏楽部。結果がすべてではないのは言うまでもありませんが、結果につなげた日々の努力を誇らしく思います。

また、生徒会長のNさんは、立派に子ども大使の務めを果たして帰ってきました。本当に御苦労様でした。

さてこの8月に、道立高校の3年生がいじめを受けた後で、2020年に自殺した問題に関する報道がありました。いじめの内容は、自殺した生徒が、複数の生徒から「きもい」「死ね」などの言葉を断続的に言われていたとのこと。言う方は軽い気持ちで言っているのですが、言われた人にとっては、どれだけつらかったことでしょうか。

親しい間柄で、冗談半分にそのような言葉を発してしまうということもあります。ただ、その言葉でなければつながらない関係でしょうか。お互いにとってもっと良いつながり方があるのではないのでしょうか。

皆さんはこの中学校で様々な学びを経験しながら、今よりもずっと広い世界に向けて飛び立つ準備をしています。今ほんの数人の世界に通じる言葉や行動に満足するのではなく、皆さんの前途に広がる広大な世界で通用する言葉や行動を、今しっかりと身に付けていきましょう。

皆さんの可能性は無限です。ただしそのような意識を持って行動した場合に、です。

2学期も、誇りある生活を心掛けながら、お互いの命をしっかりと育んでいきましょう。